

発見!

# おごおり遺産

No.36

## 地域の秋のお祭り

秋になると、市内各地で昔から続くさまざまな神事や行事、お祭りなどが行われます。その中から今回は2つを紹介します。



早馬祭



名月さん

秋は、全国各地で収穫の感謝を示す祭りのほか、各神社の例祭などが行われます。小郡市でも収穫の感謝を示す祭りとして注連ねり・早馬祭(令和4年11月号で紹介)・名月さん(令和3年8月号で紹介)のほかに、出雲へ行き来する神様に対する行事として堂籠り(どうろうごり)が行われ、神社の例祭としてオクンチや宮座などが行われます。



### 【上岩田注連ねり(人形じめ)】

上岩田老松神社で行われる「注連ねり」は、その年に収穫した稲ワラを使って、独特の形をした注連縄を作る行事です。作られる注連縄の形が人の形をしているので「人形じめ」と呼ばれています。その年の収穫を祝うオクンチの行事として、従来は毎年10月19日に行われてきましたが、現在は10月の第3日曜日に行われるようになりました。

「注連ねり」は、注連を作る作業全体のこと、御座と呼ばれる上岩田神社の座行事の一つとして行われます。人形じめは大きいものが1体と小さいものが3体作られ、それぞれ「大じめ」「小じめ」と呼ばれています。

この行事がいつ頃から始められたのか、なぜ人の形をした注連縄を作るようになったのかは分かっていません。しかし、行事自体が古くからの様式を残しており、手順や役割など厳格に守られる部分も多く残っていることから、平成17年(2005)、市指定無形文化財となりました。現在も地元の人の手によって、大切に守り継がれています。



拝殿に掛けられた人形じめ

### 【堂籠り】

全国的に、10月(神無月)は神様が出雲に集まると言われており、9月には出雲に旅立つ神様を送る神送り、10月には神様の帰りを迎える神迎えの行事として、神社でおこもりをする風習が広く行われています。

市内では、三沢や吹上、大板井などで現在も神迎えのおこもりとして堂籠りが行われています。堂籠りでは神様が帰ってくるための目印として神社境内で火を焚き、氏子や子ども達が神社で過ごします。

気候も良く、農作業もひと段落する秋には、さまざまな神事や行事、お祭りなどが行われます。近くで行われていたら、ぜひ参加してみてください。



吹上神社の堂籠りの様子

9月号掲載の「夏のお祭り」、今号の「秋のお祭り」とも、紹介できたものはごく一部です。他にも伝統行事や神事などの情報がありましたら、ぜひ文化財課までご連絡ください。

文化財課文化財係

☎ 75・7555